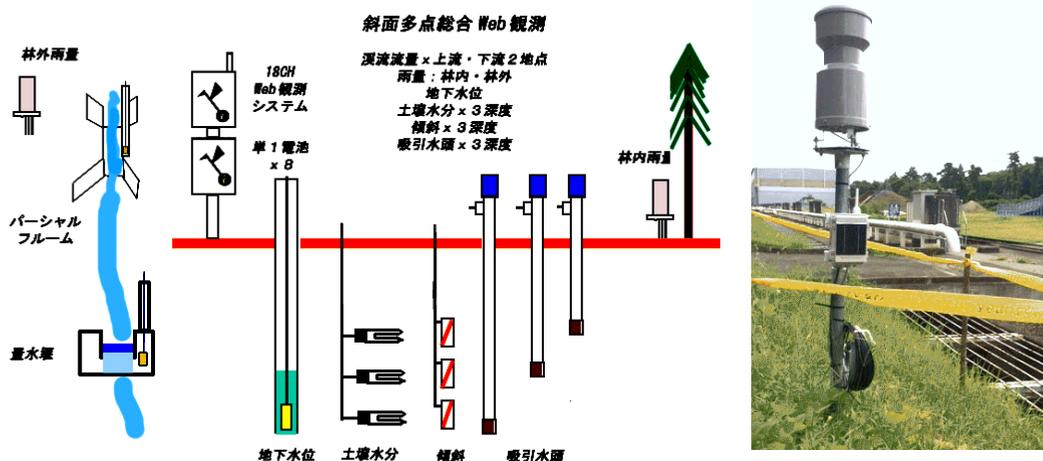


コロナウイルスで 出かけるのを減らしたい 今こそ 遠隔で多種・多点・多地点Web 観測



実績例

1) 広島：土石流発生メカニズム解明のための斜面観測

約20km四方の様々な斜面16箇所合計114個のセンサーを設置し異なる場所を総合的に観測評価。

(設置センサー：水位計・林外雨量計・林内雨量計・土壌水分・吸引水頭・傾斜計伸縮計・量水堰・パーシャルフルーム)

2) 京都：土砂ダム水位観測監視

土砂崩れで発生した決壊の危険のある天然ダムの水位をWeb観測(単1と単2の乾電池8本ずつのセットで10分毎の水位監視を3ヶ月実施の超省電力運用を実現、緊急観測に最適)

3) 東京：工事用水の地中汲み上げと地中への復水循環 (LoRa)

地盤工事で発生する地下水を再び地中に戻す時の各地下水位、流量や圧力を300m四方の広い重機も稼働する工事現場に設置された複数の汲み上げ井戸と復水井戸を12箇所個別に無線で観測し総合にリアルタイムに評価・管理を実施。長距離無線通信LoRaを使用して工事現場内の長距離の配線を大幅削減。

屋外でWebを使った観測で実績を重ねております。コロナで出かけるのを減らしても遠隔計測ならタイムリーにデータ処理が行え計測の品質向上が図れます。Web観測システムとして使える形でお渡し致しますのでお気軽にお問い合わせください。 200430